

2025年2月20日

関係各位

東北身体障がい者水泳連盟
事務局長 仙北屋 勉

**2025年度 パラスポーツ指導者研修会
(パラ水泳 J-FGS クラス分け) の開催について**

時下、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、このたび、宮城県および宮城県障害者スポーツ協会の主催で、標記研修会を開催することとなりました。

障がい者の水泳競技におけるクラス分けは、障がいの影響を最小限に抑え、競技パフォーマンスの優劣こそが勝敗を決めることを確証するために設けられた競技クラスに、競技者をグループ分けするものです。

同じような障がい程度の選手が公平・公正に競技を行うために不可欠なもので、このクラス分けを理学療法士および作業療法士のメディカルスタッフと、水泳の専門家のテクニカルスタッフがチームを組み、実施します。

東北地域においては、このクラス分けに関わる方が不足していることから、パラ水泳にかかるクラス分けの普及啓発と、協力者の養成を目指して本研修会を実施いたします。

つきましては、本研修の要項をお送りさせていただきますので、貴団体関係の方々への周知についてご配慮下さいますようお願いいたします。

<問い合わせ>

東北身体障がい者水泳連盟
技術支援員 齋藤 真一
E-mail myz@yk2.so-net.ne.jp

2025年度 パラスポーツ指導者研修会 開催案内

(実施科目：パラ水泳 J-FCSクラス分け)

こんな方におすすめ！

- ☆ パラ水泳のクラス分けを知ってみたい方
- ☆ 将来、クラス分け委員を目指したい方
- ☆ パラ水泳の指導に携わっている方

- 【主催】 宮城県 / 一般社団法人宮城県障害者スポーツ協会
【共催】 東北身体障がい者水泳連盟
【対象者】 パラ水泳にかかわる意思があり、クラス分けに興味のある方
※医師、理学療法士、作業療法士、水泳指導者、
パラスポーツ指導者、水泳経験者など
【日時】 2025年 5月18日(日) 10:00~16:00
【会場】 仙台市若林体育館 2階 会議室3・4
(仙台市若林区卸町東二丁目8番10号)
【日程・内容】

受付	9:40 ~ 9:55
講義	10:00 ~ <全体セッション①> ・自己紹介 ・パラ水泳とクラス分け
	<全体セッション②> ・クラス分けの概要
休憩	※ 途中、昼休憩あり。(昼食は各自ご用意ください。)
演習	<グループセッション> ● メディカルグループ (講師：日本パラ水泳連盟クラス分け委員) 「セラピスト (メディカル) の関わり」 ● テクニカルグループ (講師：日本パラ水泳連盟クラス分け委員・審判員) 「競技役員 (テクニカル) の関わり」
	<全体セッション③> ・クラス分けの手順 ※シミュレーション (フィジカルアセスメント)
まとめ	15:40 ~ 16:00 <全体セッション④> ・感想と質疑応答

※内容は変更となる場合があります。

【講 師】 東北身体障がい者水泳連盟 クラス分け委員・審判員
(日本パラ水泳連盟 公認クラス分け委員・審判員資格者)

【受講料】 1,000円(資料代含む)
※当日受付にて徴収。
なるべく釣り銭の無いようにご用意ください。

【申込方法】 令和7年5月10日までに、東北身体障がい者水泳連盟HPより
お申込みください。



<https://tohoku-paraswim.jimdofree.com/>

【その他】

- 東北身体障がい者選手権への協力を希望する方は、申込時にお知らせください。
※クラス分けや大会運営補助(競技中の選手の車いす、義足運搬など)を行っていただきます。
※クラス分け実施予定日:5月31日(土)・1日(日)
会場:セントラルスポーツ宮城G21プール

【受講に際しての注意事項】

- 公認パラスポーツ指導者は、指導者手帳をご持参ください。
- 日々の検温等、体調管理をし、万全の状態でお越しください。
- 発熱や普段とは違う症状が確認された場合は、受講を見合わせてください。
- 昼食は各自でご用意ください。(徒歩10分程度のところにコンビニエンスストアがあります。)
- 食事等で出たゴミは、各自お持ち帰りください。
- 申込後にやむを得ず受講者の変更等が生じた場合は、ご連絡ください。

【お問い合わせ先】

一般社団法人宮城県障害者スポーツ協会 事務局
〒983-0836 仙台市宮城野区幸町4-6-2
FAX: 022-257-1062
E-mail: kensupo1988@poplar.ocn.ne.jp

JPSF公認講義役員（クラス分け委員・審判員）について

<クラス分け委員について>

パラスポーツでは、同程度の障がいのある選手同士で公平に競えるように「クラス分け」を行います。このクラスを分けるのが「クラス分け委員」の役割です。

クラス分けでは水泳に必要な筋力や動作、関節の可動域のテスト、欠損部分の長さの測定などを行い、また実際にプールでの泳ぎの動作などをテストして、徹底したクラス評価を行います。

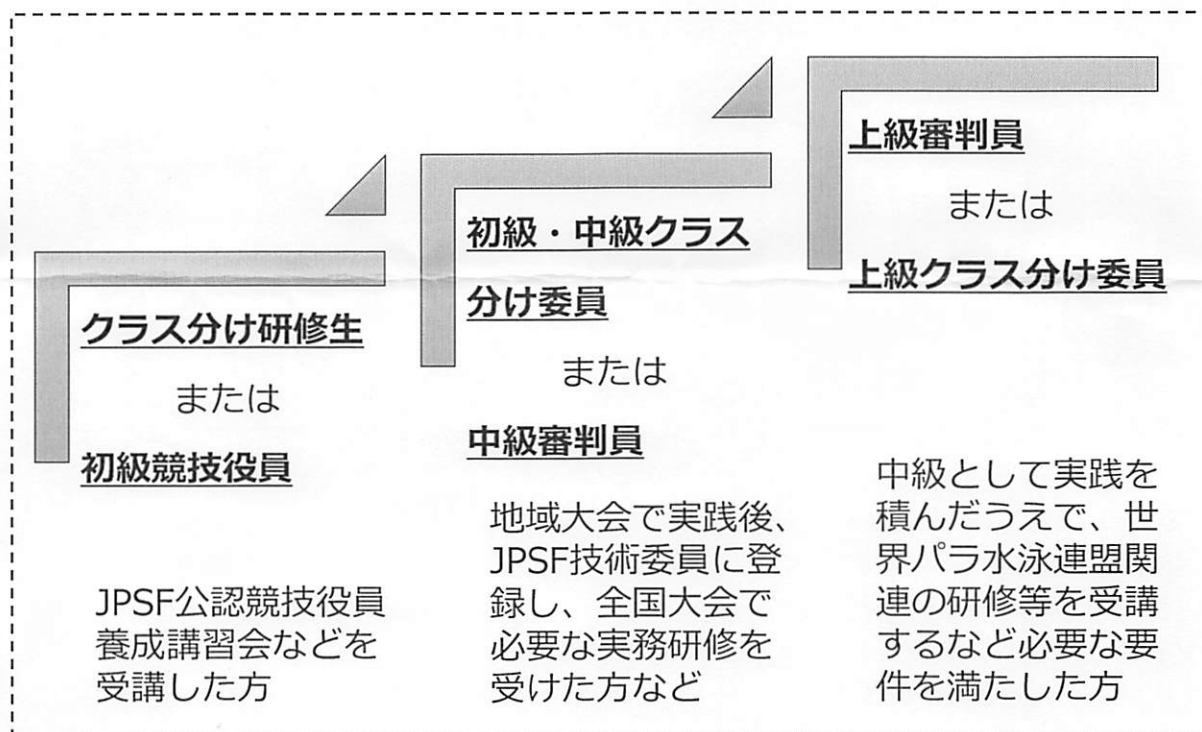
<審判員について>

パラ水泳は障がい特性に応じたルールがあります。

パラ水泳のルール（世界パラ水泳連盟競技規則）は、一般的な水泳のルール（世界水泳連盟競技規則）を、障がいに合わせて修正し、工夫されています。

パラ水泳の審判員は、障がいのある選手が不利になることが無いように判定を行い、大会を運営します。

JPSF（日本パラ水泳連盟）公認競技役員へのステップ



※今回の研修は、公認競技役員養成講習会よりも簡易的な内容としています。